

平成18年度財団法人浜松市文化振興財団事業報告

(1) 事業の概要

平成18年度は、指定管理者の導入、浜松市合併に伴う北遠地域への事業展開、公益法人会計の改正（平成16年10月14日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会申合せ）に則した新会計基準の導入など、大きな転換期となる年度でした。

事業面では、第6回浜松国際ピアノコンクールの開催年にあたりました。今回は同コンクールにおいて初の試みとなるインターネットを利用したストリーミング配信を行うなどの企画を取り入れ、「音楽のまち・浜松」を世界に発信することに成功いたしました。また、コンベンション都市のランドマークであるアクトシティ浜松により多くのコンベンションを誘致すべく、都市圏の学術会議事務局や近隣地域の商工会議所などへのセールス活動を活発に展開いたしました。浜松市楽器博物館、浜松科学館、木下恵介記念館等所管施設の附帯事業におきましては、移動博物館や上映会などを旧浜松市以外でも開催することにより、新市域全体の文化向上に貢献するとともに、所管施設への誘客にもつなげております。

所管施設の管理におきましては、浜松市内の公共施設8施設の指定管理を行いました。浜松市から受けた指定管理料は合わせて1,449,711千円でした。（平成17年度管理受託料の合計は1,855,896千円）

利用者数につきましては、平成17年度末にリニューアルした浜松市楽器博物館とプラネタリウムの改修工事を行った浜松科学館の入場者数が、引き続き好調に推移しております。また、浜松こども館も多彩な附帯事業を取り入れた結果、入場者数を大幅に伸ばしております。

なお、財団法人浜松市浜北振興公社の解散に伴い、浜松市浜北文化センター、浜松市森岡の家、浜松市なゆた・浜北の3施設を受け入れるため、事業継承にかかる事務も行いました。

ア 芸術文化活動の企画、運営及び提供

18年度は第6回浜松国際ピアノコンクールの開催年にあたり、財団自主記念事業として「中村絃子&東京交響楽団 協奏曲の夕べ」「上原彩子ピアノリサイタル」の2公演が開催されました。オペラ公演ではイタリア・ベッリーニ大劇場「ノルマ」、ベルガモ・ドニゼッティ劇場「ランメルモールのルチア」の2公演、リサイタルでは「千住真理子ヴァイオリンリサイタル」、ニューイヤーコンサートでは「ウィーン交響楽団ヨハン・シュトラウスアンサンブル」、バレンタインコンサートでは「オルガンバレンタインコンサート」が開催されました。

また、恒例の松竹大歌舞伎公演は「勸進帳」を松本幸四郎、市川染五郎の親子競演で開催され会場が熱気に包まれました。ファミリー向けには「サンリオファミリーミュージカル『スーパーアドベンチャー西遊記』『しまじろう ふしぎなもりのものがたり』」の2公演を行いました。幅広いファン層をもつ「アイリッシュダンスカンパニー〈トリニティ〉」や、オペラと落語のコラボレーション「桂小米朝らくごぺら『モーツァルト・モーツァルト』」も盛況を博しました。

イ 芸術文化活動の支援及び交流の促進

市民団体を中心に関係機関と協力して「浜松市民文化フェスティバル」や「浜松市芸術祭はままつ演劇・人形劇フェスティバル」を開催するとともに、市民や団体が実施する芸術文化事業への助成金による支援、財団の事業に協力するボランティアスタッフの募集・育成を行いました。また、平成17年の浜松市合併に伴う新市域への「音楽のまちづくり」の一環として、「天竜地域活性化事業 渡邊史ソプラノコンサート&小学校アウトリーチ事業」を開催いたしました。

このほか「浜松能」「日本吹奏楽指導者クリニック」などが多くの市民から注目され好評を博しました。

ウ 文化振興を担う人材の育成

「ジュニアオーケストラ浜松」及び「ジュニアクワイア浜松」の育成を通じて、将来を担う子供たちの育成を図りました。本年3月には「ロチェスター市友好交流事業」として「ジュニアオーケストラ浜松」の団員をロチェスター市へ派遣し、演奏会を通じて交流を深めました。また、アクトシティ音楽院事業では世界で活躍する音楽家から市民レベルの音楽文化の担い手まで幅広く人材の育成を図りました。

エ 芸術文化に関する調査研究及び情報提供

「アクトシティ浜松友の会」（ビバーチェクラブ）には約6,500人の会員が登録され、浜松市文化振興財団が主催する文化事業を支える組織として認知されています。hcfニュースやミニイベントカレンダーにより年間スケジュールの告知を広く行っています。

浜松国際ピアノコンクールをはじめ各イベントの開催に際しては、マスコミ各社等へニュースリリースを行い、有機的な広報戦略を構築しつつあります。

また、「浜松市域文化団体調査事業」として、浜松市内の文化団体の情報を財団ホームページで掲出し、市民への情報提供を行っております。文化団体の登録については、引き続き随時受け付けています。

オ 地域社会の活性化に資する事業

5月の浜松まつりに合わせた「アクトでやらまいか！浜松まつり」、8月の「納涼まつり」、1月の「骨董フェスタ」では、アクトシティ活性化委員会の一員として浜松の特徴を生かした企画の提案と運営に関わり、アクトシティでの賑わい創出を計画実施しました。地元企業の出店参加や周辺地域の様々な郷土伝統芸能、市民アートフェスティバル、はっぴ野郎コンテストなどの実施により、地域文化のアピールと共に、地域社会の活性化を図りました。

また、アクトシティでは、施設全体の有効活用による周辺地域の活性化を図るため、ホールセールを実施しました。訪問先は、近隣の商工会議所、医療機関など各種団体をはじめ、首都圏の学会事務局、企業などで、アクトシティ全体の説明を行いました。

カ 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

第6回浜松国際ピアノコンクールを平成18年11月12日～27日の期間で開催し、優勝者にアレクセイ・ゴルラッチ（ウクライナ）が選出されました。また、大会に先立ちアレクサンダー・コ布林、ラファウ・ブレハッチによるオープニングコンサートを2夜に亘って開催しました。今大会は、応募者数268名、国籍39カ国1地域、第1次予選参加者73名、市民ボランティア117名、延べ入場者22,017人、インターネット・ストリーミング配信数803,762件などの結果を残しました。大会公式情報誌「The Hamamatsu」は大会を仔細に伝えるタブロイド誌として好評を博しました。さらにマスコミを通じた情報配信も幅を広げ、浜松市民の参加だけでなく首都圏からの来場者も多く集めました。

また、第11回浜松吹奏楽大会や市制施行96周年記念式典、パイプオルガンミニコンサートなど市の芸術文化事業を受託するとともに、市や関係機関と協力して音楽文化をはじめとした多彩な芸術文化の振興に努めました。

キ 公の施設の管理運営及び附帯事業

（ア）アクトシティ浜松

展示イベントホールの長期利用や、浜松国際ピアノコンクールの開催などにより、稼働率

が向上し目標としていた利用料金収入を上回る収入を達成できました。音楽セミナー室や展示イベントホールといった稼働率が低迷していた施設の稼働率が上がりましたが、上がり幅は小さく、引き続き積極的に営業活動を展開いたします。

設備管理では、水道の流量や空調の温度設定、湿度設定を見直すことにより削減を図りましたが、稼働率の向上により光熱水費の削減が計画通り進まず、今後の課題となりました。平成18年度は、今後の省エネルギー化を推進するため、点灯時間の長い蛍光灯の安定期交換や、非常灯の省エネタイプへの交換、メンテナンスサイクルが長く、管理しやすいバッテリータイプへの変更を行いました。

官民共同事業体であるアクトタワー管理会社との連携を密にし、建築当初から使われている情報管理設備の一部については、官民の分離、規模の縮小を図りました。

(イ) 浜松市楽器博物館

リニューアルによる常設展の整備とAV展示・体験展示の充実、また積極的な首都圏・関西圏等へのPRにより、目標を上回る入館者数を達成し、利用料金収入も当初予算より大幅増となりました。静岡文化芸術大学との共同企画によるレクチャーコンサート、大阪音楽大学の特別協力による特別展を実施し、外部の教育文化機関との連携を深めました。浜松国際ピアノコンクールに関連した企画展の開催や、同コンクールのレクチャーコンサートでの所蔵古典ピアノの使用により、博物館への関心を高めました。所蔵ピアノや管楽器の演奏によるCDの発行は学術的にも高く評価され、生きた博物館としての存在感を社会に示しました。

NHKはじめ報道機関の取材も多く、番組の全国放送により全国へのPRができました。

(ウ) クリエイト浜松（文化コミュニティセンター及び中部公民館）

クリエート浜松（文化コミュニティセンター・中部公民館）の利用状況におきましては、前年度より利用件数、利用者数、利用率ともに減少した施設がありましたが、利用料金収入は、前年度に比較して約284万円の増額となりました。増額の要因としては、セミナーなどに利用する企業や団体が増えたことにより、営利加算するケースが多くなったことが考えられます。

中部公民館事業については、「浜松ヒューマンセミナー」や「地域子ども育成事業」といった青少年健全育成事業などを実施し、地域住民の交流と向学の間として好評を得ました。また、八幡・中部中学校区の成人式を実施しました。

なお、視聴覚ライブラリーについては、平成 18 年 10 月から城北図書館に事業を移管いたしました。

(エ) 浜松科学館

プラネタリウムにつきましては、平成 17 年度末にリニューアルオープンし、平成 18 年度には最新の投影システムによる CG 特別番組「時空の果てに」投影が本格的に稼働したことで、54,680 名（前年度比 199%）の観覧者をお迎えすることができました。

特別展「大空に羽ばたいた恐竜たち展」につきましては、夏休み期間（7/26～9/10）47 日間の長期開催をしたことで、65,155 名もの観覧者（前年比 217%）をお迎えすることができました。

また、両者のよさを来館者に理解していただくため、特別展開催期にはプラネタリウムと特別展のセット券販売を実施したことも観覧者数の増加を促す要因になったと考えられます。

さらに、常設展につきましても、宇宙のコーナーに新展示物「プラネットナビゲーター」を導入したことや、特別イベント「つくり隊！遊び隊！」（年間10回開催、計827名）、「季節のイベント」（年間5期間開催、計1,998名）を有料施設内で開催したことで、77,452名の年間有料入館者（前年比182%）をお迎えすることができました。

(オ) 浜松こども館

平成 18 年度は、平日の主な来館者である乳児と保護者を対象とした事業「はじめてのことばあそび」、「ハイハイくらぶ」、「ヨチヨチくらぶ」などの充実と、子どもの創造性を育むことを目的とした「わくわく創作マーケット」、造形つみき『カプラ』を取り入れた事業の展開を図り、前年度比約 1 万 2 千人増の入館者数増を達成いたしました。また、市民との協働を図るために、ボランティアが主体となった事業「誕生祭 あ・そ・ぼ ～だーいかぞくごっこ～」を開催しました。

(カ) 浜松文芸館

浜松市に在住しゆかりの深かった「相生垣瓜人」の特別展と、平成 17 年度浜松市ゆかりの芸術家顕彰受賞を記念して企画した「小泉吉宏・那須田淳」の特別展を開催しました。瓜人展については俳句人口の多い浜松地域では、俳句愛好家から好評を博しました。また、小泉・那須田二人展は作家と同世代の観覧者が多く、アンケートからは展示内容について、「たいへ

ん満足・満足」が 83%以上という評価をいただきました。

自主事業の講座も毎回定員を上回るほどの受講希望者があり、市民の文化意識の向上の一助を果たせました。貸室業務については年間一万人を超す利用者があり、生涯学習の大切な場となっています。また、第52集「浜松市民文芸」には600人程の市民が参加し、力作が寄せられました。

(キ) 木下恵介記念館

2年目を迎えた DVD 上映会も次第に固定客が増え、定着してきました。木下映画の本質が理解され、特に高齢者層に人気があり、今後の DVD 上映会ファンは増えそうです。

出前ビデオ上映会も、毎年希望公民館が増えています。中でも「涙」は昔の浜松市内のシーンが多いため、観覧者が当時の映像に思い出を重ねて喜んでおります。

木下恵介記念はままつ映画祭につきましては、ゲストをこれまでは当時のスタッフに依頼していたものを、趣向を変えて出演者に変更したところ、来館者が去年の3倍近く増えました。「少年期」「涙」を上映したことで石浜朗を迎えました。往年の大スターが語る50年前の浜松の話に、会場が大いに盛り上がりました。

昨年11月にはNHKスペシャルで木下恵介特集が放映され、市内のみならず広く全国の木下ファンが来館される動きも感じました。

(ク) 浜松市天竜壬生ホール

ホールの保守点検日程を見直し、効率的なスケジュールを組んで、利用可能日数を増やしました。その結果、前年度より利用実数が20日増え、入場者数は、8,700人増えました。

管理業務も見直しを行い、樹木管理において、開館以来初めて造園業者による手入れをしました。

公共ホール音楽活性化事業として「渡邊史ソプラノコンサート」や音楽体験授業を開催したほか、所管課による会館事業に積極的に協力しました。特に「本田宗一郎生誕100年記念事業」では、客席が満席になり大盛況でした。

ク 埋蔵文化財の発掘及び調査

旧浜松市内の遺跡のほか、旧引佐町内の北神宮寺遺跡など新市域を含む8遺跡の発掘調査や整理作業、報告書の作成を行いました。

(2) 会議に関する事項

ア 理事会議決事項

議決番号	開催年月日	件名
第20号	18. 6. 7	平成17年度財団法人浜松市文化振興財団事業報告及び収支決算について
第21号	18. 6. 7	財団法人浜松市文化振興財団評議員の選任について
第22号	18. 12. 20	財団法人浜松市文化振興財団職員就業規程の一部改正について
第23号	18. 12. 20	財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第24号	18. 12. 20	財団法人浜松市文化振興財団評議員の選任について
第1号	19. 3. 22	平成18年度財団法人浜松市文化振興財団補正予算について
第2号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団組織規程の一部改正について
第3号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団所管施設業務規程の一部改正について
第4号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団公印規程の一部改正について
第5号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団就業規程の一部改正について
第6号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について
第7号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団会計規程の一部改正について
第8号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第9号	19. 3. 22	アクトシティ浜松利用料金規程の一部改正について
第10号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団運営委員会規程の一部改正について
第11号	19. 3. 22	浜松科学館利用料金規程の一部改正について
第12号	19. 3. 22	平成19年度財団法人浜松市文化振興財団事業計画について
第13号	19. 3. 22	平成19年度財団法人浜松市文化振興財団予算について
第14号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団評議員の選任について
第15号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団理事長・副理事長・常務理事の互選について

イ 評議員議決事項

議決番号	開催年月日	件名
第2号	18. 12. 20	財団法人浜松市文化振興財団理事の選任について
第1号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団理事の選任について
第2号	19. 3. 22	財団法人浜松市文化振興財団監事の選任について

(3) 役員に関する事項

ア 役員（平成19年3月31日現在）

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	庄田 武	評議員	石村和清
副理事長	丹羽稔夫	評議員	鈴木富士男
常務理事	川上正芳	評議員	内山知一
理事	中山正邦	評議員	西山恭矢
理事	伊藤修二	評議員	渡邊恒範
理事	河合弘隆	評議員	加藤幸博
理事	山内啓司	評議員	小楠達司
理事	鈴木敬彦	評議員	堀田千秋
理事	深澤正泰	評議員	仁科庄一
理事	小野弘子	評議員	川井孝啓
理事	林 司朗	評議員	小田木清種
理事	杉田 豊	評議員	高松良幸
理事	須藤京子	評議員	西田かほる
理事	田中佐智子	評議員	石田美枝子
監事	大石清美		
監事	鈴木不二		

イ 役員の変動

(ア) 就任

役職名	氏名	就任日	役職名	氏名	就任日
理事	深澤正泰	18.12.20	評議員	西山恭矢	18.6.7
理事	田中佐智子	18.12.20	評議員	渡邊恒範	18.12.20
理事	小野弘子	18.12.20	評議員	川井孝啓	18.12.20

(イ) 辞任（任期満了も含む）

役職名	氏名	辞任日	役職名	氏名	辞任日
理事	藤田賢龍	18.12.20	評議員	内山智一朗	18.6.7
理事	宮本武彦	18.12.20	評議員	金原 淳	18.12.20
理事	齋藤佳枝	18.12.20	評議員	戸川 泉	18.12.20
理事	庄田 武	19.3.31	評議員	石村和清	19.3.31
理事	丹羽稔夫	19.3.31	評議員	鈴木富士男	19.3.31
理事	川上正芳	19.3.31	評議員	内山知一	19.3.31
理事	中山正邦	19.3.31	評議員	西山恭矢	19.3.31
理事	伊藤修二	19.3.31	評議員	渡邊恒範	19.3.31
理事	河合弘隆	19.3.31	評議員	加藤幸博	19.3.31
理事	山内啓司	19.3.31	評議員	小楠達司	19.3.31
理事	鈴木敬彦	19.3.31	評議員	堀田千秋	19.3.31
理事	深澤正泰	19.3.31	評議員	仁科庄一	19.3.31
理事	小野弘子	19.3.31	評議員	川井孝啓	19.3.31
理事	林 司朗	19.3.31	評議員	小田木清種	19.3.31
理事	杉田 豊	19.3.31	評議員	高松良幸	19.3.31
理事	須藤京子	19.3.31	評議員	西田かほる	19.3.31
理事	田中佐智子	19.3.31	評議員	石田美枝子	19.3.31
監事	大石清美	19.3.31			
監事	鈴木不二	19.3.31			

(4) 職員に関する事項

区 分	人数()は兼務		備 考
	平成18年3月31日現在	平成19年3月31日現在	
総務部長	1	1	事務員1(うち浜松市職員1)
課長	1	(1)	総務部長兼任
主幹	0	1	事務員1
主任	3	3	事務員3
係員	3	5	事務員1 嘱託員4
事業部長	1	(1)	常務理事兼務
課長	2	2	事務員2(うち浜松市職員1)
主幹	0	2	事務員2
主任	7	6	事務員6
係員	11	16	事務員5 嘱託員11
施設部長	1	—	
課長	1	—	
主任	1	—	
係員	11	—	
アクトシティ浜松管理課長	(1)	1	事務員1(うち浜松市職員1)
主幹	1	1	事務員1
主任	4	4	事務員4
係員	8	9	事務員5 嘱託員4
楽器博物館長	1	1	事務員1(うち浜松市職員1)
主幹	—	1	事務員1
主任	2	—	
係員	7	8	嘱託員8
クリエート浜松館長	1	1	事務員1(うち浜松市職員1)
主幹	—	1	事務員1
主任	1	—	
係員	7	7	嘱託員7
科学館館長	1	1	嘱託員1
主幹	1	2	事務員2(うち浜松市職員2)
主任	4	1	事務員1
係員	19	17	嘱託員17

こども館館長	1	1	嘱託員1
主幹	1	1	事務員1
主任	—	1	事務員1
係員	15	15	事務員3 嘱託員12
文芸館館長	1	1	嘱託員1
係員	2	2	嘱託員2
木下恵介記念館館長	1	1	嘱託員1
係員	1	1	嘱託員1
天竜壬生ホール館長	—	(1)	常務理事兼務
係員	—	1	嘱託員1
計	122	115	
会計責任者	(1)	(1)	総務部長
出納員	(10)	(10)	課長及びアクシティを除く館長